

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営基本方針

事業を通じて、世界中の人々のくらしの向上と社会の発展に貢献し、物と心が共に豊かな理想の社会を実現する

ROE
10%以上

調整後営業利益率
10%以上

収益改善
3000億円以上

収益改善（初期段階）
1500億円以上

② 中長期の経営戦略

1. リーンな本社・間接部門

人員最適化、製造・物流・販売拠点統廃合、DXによる生産性向上で固定費削減と先行投資領域の収益改善に取り組む

2. 低収益事業の見極め

2025年度中にROICが事業別WACCを下回る課題事業の方向づけを行い、再建または事業立地を検討

3. ソリューション領域への注力

ソリューション領域でグループシナジー創出、デバイス領域で調整後営業利益率15%以上、スマートライフ領域で10%以上を目指す

4. 組織再編と家電事業再建

パナソニック㈱を発展的解消し分社化、グループ家電事業を集約した事業会社設立で家電市場に集中

③ 対処すべき課題

① 事業競争力と収益性

- ・ 成長投資が収益性に繋がっていない
- ・ 事業会社化に伴う固定費増大
- ・ 競争力強化が不十分

② 経営環境の不確実性

- ・ 米国関税政策の動向が不透明
- ・ ウクライナ情勢など地政学リスク継続
- ・ 世界経済の先行き見通しが困難

③ 事業ポートフォリオ最適化

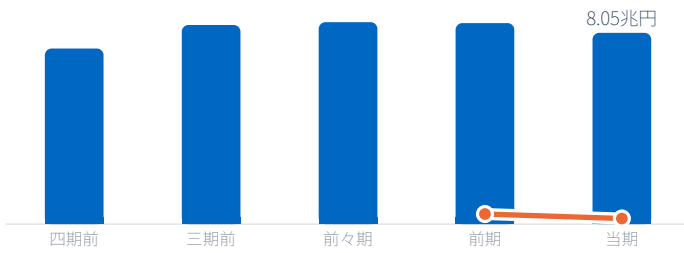
- ・ 低収益事業の整理が必要
- ・ 車載電池の成長シナリオ見直し
- ・ 家電事業の抜本的構造改革

面接で使えるポイント

- ・ 社会課題解決と企業価値向上を両立させる経営姿勢。地球環境問題解決とウェルビーイング領域で競合を超えるお役立ちを実現
- ・ 2028年度までに3000億円以上の収益改善を目指すグループ経営改革。
- ・ ソリューション・デバイス・スマートライフの3領域戦略。調整後営業利益率15%以上・10%以上の目標達成で競争力を強化

証券コード 6752

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
8.05兆円営業利益率
2.9%財務健康度
46点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 64.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
988万円

電気機器内 16位/225社

平均年齢
44.1歳

電気機器内 86位/225社

平均勤続
18.6年

電気機器内 48位/225社

女性管理職
14.2%

電気機器内 11位/182社

男性育休
84.0%

電気機器内 76位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: パナソニックHD、WHX Osaka 2026に出展～細胞

